

【日本医科大学附属病院 がん化学療法レジメン】

※無断転載禁止

レジメン番号： BRST-139

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
乳がん (PD-L1陽性 TNBC)	Pembrolizumab +CBDCA/GEM	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	Cortes J et al. Lancet 2020;396:1817-1828

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓																				
④	デキサート パロノセトロン	6.6mg 0.75mg/50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	ゲムシタビン 生理食塩水	1000mg/m ² 100mL	点滴静注	30分	↓																				
⑥	カルボプラチナ 5%ブドウ糖液	AUC2 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓																				

※【6週間間隔で投与する場合】キイトルーダ200mg→400mgへ変更

<注意事項/備考>

- ✓ Pembrolizumab : 0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ GEM : 血管痛、皮疹に注意
- ✓ 間質性肺炎 : 初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 血糖上昇 : 口渴、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
- ✓ 大腸炎、下痢 : 持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害 : 投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を

:»

